

情報を吟味視野広げる

情報を取捨選択して吟味すること
とで自分の考えを確立させ、視野を
広げることを目指す。インターネッ



朝日中学校（奄美市）

人権に関する記事を切り抜く生徒
Ⅱ奄美市名瀬の朝日中学校

トで知りたい事柄だけを検索して思
考の幅を狭め、他者の意見をうの
みにしないために新聞を活用してい
る。

コラムを書写し、投稿欄や各種コ
ンクールに応募する。2年生は授業
で複数紙を読み比べ、人権に関する
記事を切り抜いた。性的少数者（L
GBTQ）や子どもといったテーマ
別に分類し、壁新聞を作成。糸井七
奈美さんは「同性婚などよく耳にす
る記事が多く、それだけ大事と思っ
た」と話した。

実践校3年目。迫美穂子教諭は「語
彙が確実に増え、文章の構成力も上
達した。今後は表現力を高めたい」
と語った。
（山下悟）

かごしま NIE実践校

鹿児島県内で2024年度にNIE（教育に新聞を）実践校
に指定された13校が、新聞を活用した授業などに取り組ん
だ。各校が進める活動や授業の様子を紹介する。

文章構成記事から学ぶ

「あすは節分。3日でないことに
違和感があるだろうか」
2月上旬、国語の授業。國生宏子



郡山中学校（鹿児島市）

気になった記事について話し合う生
徒ら
Ⅱ鹿児島市の郡山中学校

教諭(49)は節分を題材にした南風録
を読み上げた。タイムリーな記事を選
び、生徒たちに紹介する。

実践校1年目。校内の弁論大会前
には、文章構成や考えを簡潔にまと
める方法を学ぶため、紙面を活用し
た。コラムの書き写しを採り入れた
り、掲示板に記事を貼ったり。さま
ざまな場面で生徒たちが新聞に触れ
る機会をつくった。

2年の眞田結菜さんは「交流サイ
ト（SNS）と異なり、全く知らな
かったことに触れられる」と新聞か
ら学ぶ利点を感じている。國生教諭
は今後について「投書にも挑戦させ
てみたい」と考えている。
（藤本わかな）